

移住風景

2019年度【第12号】
2020年3月1日発行
八頭町役場商工観光室
(0858-72-0144)

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

昔取った杵柄

学生時代、私は東京都内のある赤提灯の居酒屋での三年間アルバイトをしていました。店長ご夫妻とは親子と間違えられるほど仲が良く、賑やかで暖かいお店でした。今でも研修等で東京へ行く際は立ち寄っています。

あれから十五年。この二月から仲間と一緒に、若桜鉄道の八東駅舎内を会場に、料理を提供したり、駅舎の雰囲気を感じたり、下さった音楽家の方のお声掛けで、音楽会を開いてみたいと思っています。いろいろと試行錯誤の途中ではありません。

すが、東京の住宅街にあった小さな居酒屋で習ったところが、この八頭町で、ほんのちよつとですが活かしていくことができると思っています。

松下 聡子



協力隊担当の現場から

八頭町発見伝⑮

—竹林公園の

ひな人形展示—

三月にある伝統的な行事と言えば、もちろん「ひな祭り」です。三月三日には各ご家庭ではひな飾りがされると思いますが、三月一日から開園する「船岡竹林公園」でもひな飾りが行われます。竹林公園では、二年前から管理棟内でひな人形の展示をはじめ、毎年多くの方が観覧されます。古くは大正から平成にかけて制作された人形を展示するので、その迫力と時代の流れを間近で感じることが出来ます。

三月末まで管理棟内に展示されるので、皆様もぜひ竹林公園にお立ち寄りください。また、やずMIS博物館も同日より開館しますので、例年よりも少し早い春の訪れを感じに遊びにいらしてください。

(商工観光室 田中)



自警団の出動はほんとカッコいいです



八頭町マスコットキャラクター やずびよん

みんな遊びにきてびよん♪

○協力隊からのお知らせ

・移住風景は、八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。